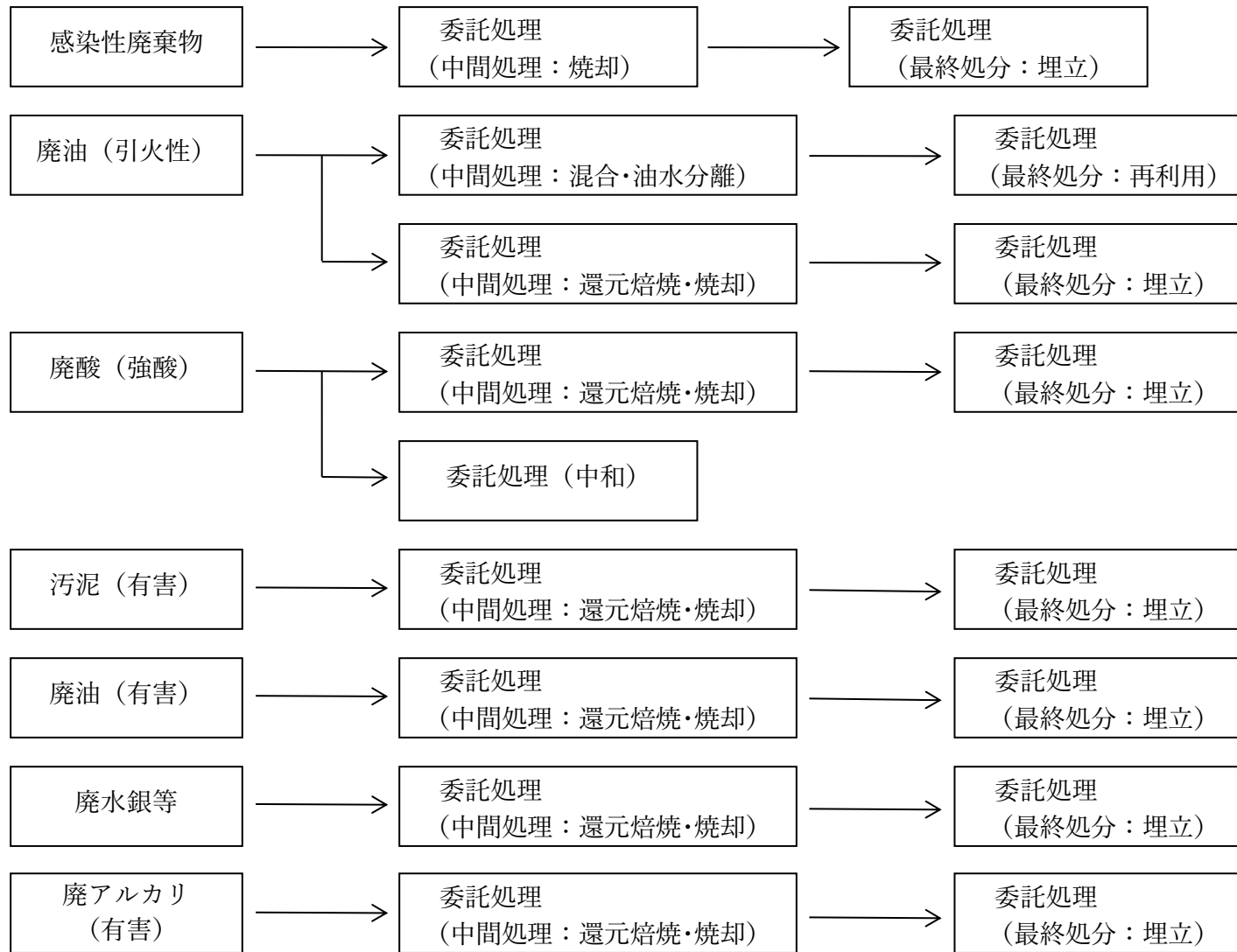


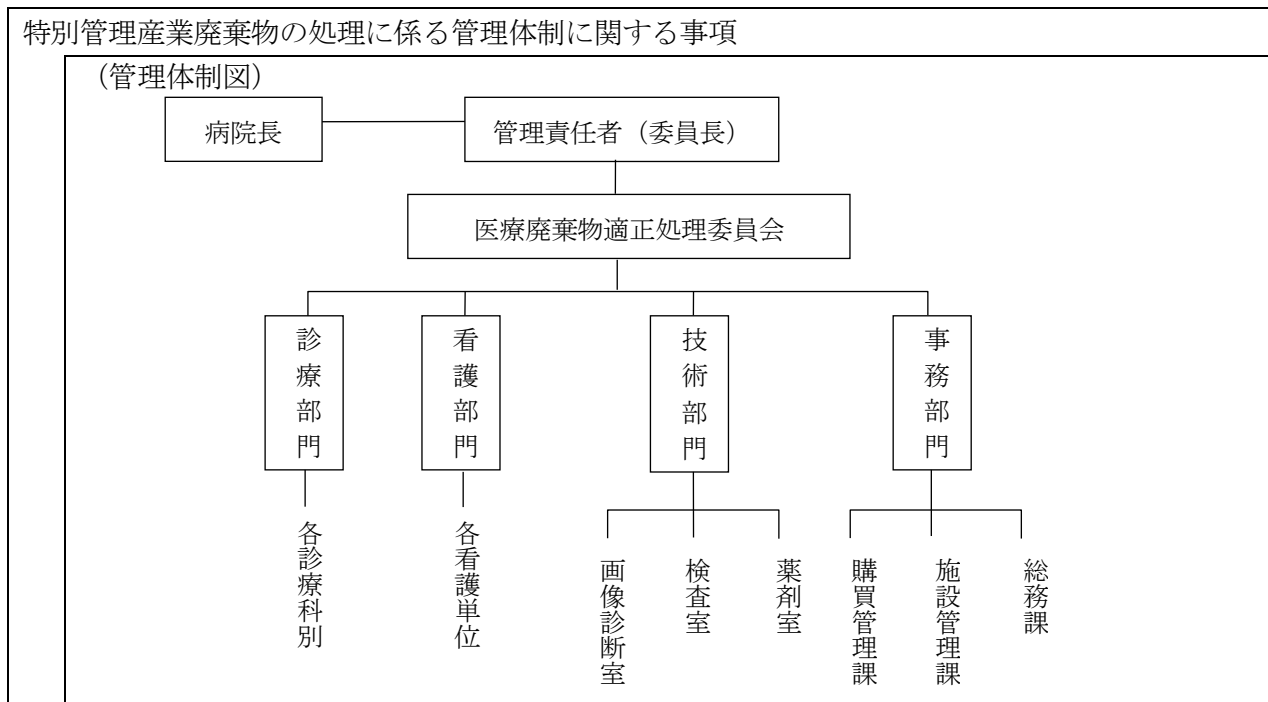
様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書	
令和 5 年 5 月 18 日	
千葉県知事 熊谷 俊人 殿	
提出者	
住 所 千葉県鴨川市東町929番地	
氏 名 医療法人鉄蕉会 亀田総合病院	
理事長 亀田 隆明	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 04-7092-2211	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院
事業場の所在地	千葉県鴨川市東町 929番地
計画期間	令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	大分類：医療・福祉 中分類：医療業
② 事業の規模	917 床 (一般：865床 精神：52床)
③ 従業員数	2,662 人 (医療従事者：2,054 人 非医療従事者：608 人)
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙の通り

④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程





特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】 別紙の通り		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】 別紙の通り		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 感染性廃棄物：各部署にて排出状況を把握し、感染性廃棄物とそれ以外の廃棄物に細かく分別するよう検討している。
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 感染性廃棄物：感染性廃棄物とそれ以外の廃棄物の分別を徹底する。使い捨て製品については使用状況を把握し、排出の削減に繋げるよう努める。

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和4年度）実績】								
特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃油 (引火性)	廃酸 (強酸)	汚泥 (有害)	廃油 (有害)	廃水銀等	廃アルカリ (有害)	
①現状	排出量	543.227 t	3.479 t	0.003 t	0 t	0.001 t	0.139 t	0.02 t
(これまでに実施した取組) 廃棄物の排出について、会議等で報告を行い、各部署単位で状況の見直しをする。排出及び分別方法の改善点などを再検討し、減量化に努めている。								
【目標】								
特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃油 (引火性)	廃酸 (強酸)	汚泥 (有害)	廃油 (有害)	廃水銀等	廃アルカリ (有害)	
②計画	排出量	500.0 t	3.0 t	0 t	0 t	0 t	0.1 t	0 t
(今後実施する予定の取組) 減量化・再資源化についての情報を収集する為、院内外で開催される研修会などに積極的に参加する。さらに、各部署で使用している製品の排出状況を見直し、分別方法の周知徹底など、排出量を必要最低限に留めるよう検討、改善する。								

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】 別紙の通り		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状

【前年度（令和4年度）実績】								
特別管理産業廃棄物の種類	感染性 廃棄物	廃油 (引火性)	廃酸 (強酸)	汚泥 (有害)	廃油 (有害)	廃水銀等	廃アルカリ (有害)	
全処理委託量	543.227 t	3.479 t	0.003 t	0 t	0.001 t	0.139 t	0.02 t	
優良認定処理業者への 処理委託量	543.227 t	3.479 t	0.003 t	0 t	0.001 t	0.139 t	0.02 t	
再生利用業者への 処理委託量	0 t	3.479 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	543.227 t	0 t	0.003 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
<p>(これまでに実施した取組)</p> <p>収集運搬から処理にまで一貫して管理し、廃棄物の減量化・無害化・再資源化などの環境保全に配慮した取り組みを積極的に行っている業者を選定、委託している。</p>								

②計画	【目標】別紙の通り		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度（令和4年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物 排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	546.869 t	
	(今後実施する予定の取組等) データ上での排出量、内容分析が簡便であるとは感じられるが、当事業所は医療機関であり、感染防止に使用する使い捨て手袋・ガウン等のゴミを減らすことは困難である。ただし感染ゴミを密封する容器は努力すれば減らすことができるため、使用個数を管理しながら減少するよう努める。		
※事務処理欄			

②計画	【目標】							
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性 廃棄物	廃油 (引火性)	廃酸 (強酸)	汚泥 (有害)	廃油 (有害)	廃水銀等	廃アルカリ (有害)
	全処理委託量	500.0 t	3.0 t	0 t	0 t	0 t	0.1 t	0 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	500.0 t	3.0 t	0 t	0 t	0 t	0.1 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	3.0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	500.0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>今以上に廃棄物の減量化、無害化、再資源化といった環境保全に配慮した取り組みを積極的に推進している業者へ委託する検討を行う。</p>								

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。